

いにちにのさし

Vol.66 2023.12/1

発行:認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・大阪 発行人:村上智則
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町11-5 ロータリーコーポ東高津303 TEL:06-7171-7457

2023年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック大会 開催!!



近畿ブロック大会を終えて

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・大阪
理事長 村上 智則



コロナ禍の3年間、多くの仲間が自分を大切にするために、自分の大切な人を守るために、たくさんのことを行なってきました。そして、今年近畿ブロックのすべての地区組織から仲間が集まる大会を、スペシャルオリンピックス日本・京都と共に開催できたことを嬉しく思っています。

アスリートの皆さんにとって、待ちに待った競技会でワクワクする気持ちとドキドキする気持ちがいっぱいだったと思います。何よりもスポーツを楽しみ、仲間との競い合いを楽しみ、ベストを尽くしていただいたと思っています。

スペシャルオリンピックスの大切にしていることは、すべての参加者にその人なりの精一杯を發揮できるチャンスがあること、その精一杯を応援しサポートする仲間がいること、さらには、その精一杯の成果やできるようになったことを共に喜び認め合える仲間がいることです。

アスリートたちのがんばりで育まれた絆がスペシャルオリンピックスだけではなく、自分たちの住んでいる地域へも、より強くより深く広がることが、私たちの大きな願いです。スペシャルオリンピックスはすべての人に開かれた場所です。そして、すべての人が大切な存在であることに気付かてくれる場所です。

Weave smiles ~笑顔をつむごう~。この3年間スペシャルオリンピックス日本・大阪が大切にしてきた気持ちです。今年の近畿ブロック大会の卓球、バスケットボール、ボウリング、競泳の各競技会で、みんなの笑顔がさらに広がり、強く紡ぐことができました。

最後に近畿ブロック大会の開催にあたり、ご協力をいただいたすべての皆様の温かいご支援に、心より厚くお礼申しあげます。

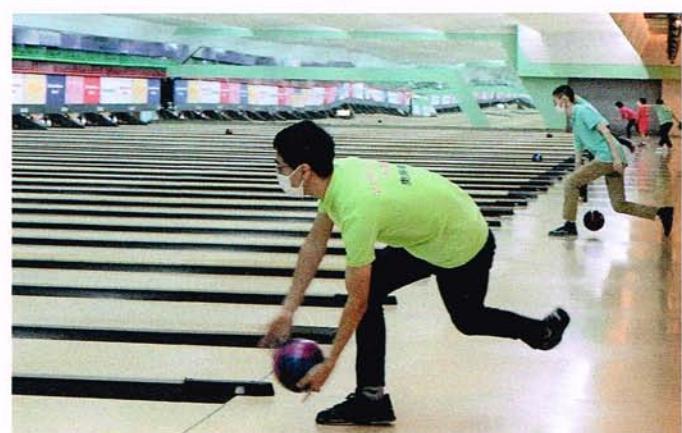
近畿ブロックボウリング競技会

2023年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロックボウリング競技会
運営部会長 柳井 祥晴

6月4日（日）牧野松園ボウルで118名の参加で、実施しました。SON・滋賀でボウリングプログラムがスタートし、初めて近畿ブロック（6地区）の全地区から出場となり、参加者も増えとても白熱し盛り上がる競技会となりました。コロナ感染症が5類へ移行となり、久しぶりの近畿ブロックの競技会でした。ボランティアやファミリーの応援が力となり、アスリートが最高のパフォーマンスを發揮できたと思います。

表彰式では、アシスト付の部、女性の部、男性の部と順に実施し、全員が表彰されアスリートが輝かしくうれしそうな姿も見ることができました。

SON・大阪のボウリングプログラムには、約80名のアスリートが参加しています。今回の出場者は43名でした。プログラムでトレーニングをし、発表に場でもある競技会により多くのアスリートが参加してもらえることを願っています。



2023年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック 競泳競技会

2023年 スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック 競泳競技会 開催される

SON・大阪 事務局長 井上 幹一

3年ぶりに桃山学院大学のご協力により、「2023年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック競泳競技会」が、8月6日(日)に開催されました。

選手団は、SON・奈良／アスリート19名 コーチ8名の27名、SON・兵庫／アスリート28名 コーチ11名の39名、SON・和歌山／アスリート11名 コーチ4名の15名、そして、SON・大阪／アスリート19名 コーチ6名の25名 合計／アスリート77名 コーチ 29名の合計106名の参加でした。

協力いただいたボランティアは、94名でした。応援ファミリー110名 合計310名が集いました。

開会式では、会場をご提供いただきました桃山学院大学 中野 瑞彦学長と大阪水泳協会 辻 義継審判長より激励の言葉をいただき、各地区代表のアスリート宣誓をして、競技が始まりました。

午前中は、個人競技の決勝グループ作成のための予選、リレー決勝、午後は、15m歩行、25mビート板補助競泳、個人競技の決勝を行いました。日頃のトレーニングでも、常に全力で競技することを実践しているアスリートですが、競技会となると、より一層頑張っている姿がありました。

競技後、表彰式です。晴れがましい表彰台に上がり、お互いの頑張りをたたえました。大きな声で、バンザイです。また、ナショナルゲームや次回の競技会を目標に、取り組んでいくことを誓った一日でした。

競技会開催に際して、会場提供いただきました桃山学院大学、競技役員を派遣いただきました一般財団法人大阪水泳協会、ボランティア参加いただきました桃山学院大学、大成学院大学、大阪経済大学、株式会社アサヒディード、株式会社関電パワーテック、マルホ株式会社、田辺三菱製薬株式会社、明治安田生命株式会社、SCSK株式会社、ダイキン工業労働組合、NPO法人 ウイング、大阪新梅田シティライオンズクラブ、大阪北ライオンズクラブ、和泉ボランティア・市民センター、そして、スペシャルオリンピックス日本・大阪ボランティアの皆様、他、多くの皆様のご協力で、参加いただいた皆様が有意義時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。



SON・大阪 理事 菊井 孝三

今回の競泳競技大会・・・一番の印象は、アスリートの方々の笑顔に心が温まりました。彼らは水中で自由自在に泳ぎ、自分自身の力を十分に発揮していました。その姿を見て、彼らの努力と周囲への大きな喜びを感じることができました。表彰式でメダルを首から掛けて、握手した時の笑顔は最高で、忘れられません。

そして、大会を主催した方々からサポートもすばらしかったです。ボランティアの方々が一人ひとりに対応し、声援や助言を送っていました。彼らの愛情と温かさが伝わりました。本当に、お疲れ様でした。

SON・大阪 運営委員 岸田 大輔

まずは大会が開催できた事が何より良かったなあと思います。

アスリートたちも思いっきり日頃のトレーニングの成果を発揮でき、また楽しむ事ができたと思います。選手誘導のボランティアは、とても良く動いていただき、スムーズな誘導ができました。一次招集との連携も良く、招集→誘導→レース→シャワーまでの流れは良かったと感じています。

運営面については、久しぶりの大会という事で、最初は少しバタつきましたが、すぐに修正でき、その後はスムーズだったと思います。

競技進行・運営については、ブロック大会をする上で、競技運営の体制や

役割の認識は、リーダーの確認や調整が必要と感じました。今後改善できればと思いました。

競泳競技会 ボランティア SCSK株式会社のみなさま

〇5年ぶりの開催ということもあり、いろいろ細かいところで随時、変更もありましたが、無事に競技を終えることができました。メダルをいっぱい首から下げて得意げなアスリートあり、狙ったメダルが取れずにうつ向いているアスリートあり、悲喜こもごも、まさに競技大会でした。

〇体育館でのボランティア活動が中心で、競技を間近で見ることがありました。2位に入ったアスリートは右手をVにして2位をとめて嬉しがっていました。きっと練習の成果が出たんだと思うと自分も嬉しい気持ちになりました。今後もささやかながらサポートできればとあらためて思いました。

〇前回は誘導係だったので、招集されたアスリートをプールに誘導し、ハイタッチしたりましたが、今回は、各地区の待機場所からアスリートを招集する係だったので、あまりアスリートとは触れ合いがなかったのが残念でした。

競泳競技会 ボランティア マルホ株式会社のみなさま

競泳競技会に大学生の息子とともに初めてボランティアとして参加させていただき、アスリートの皆さんのが競技に取り組むひたむきさや一生懸命さと、ご家族やSON関係者、多くのボランティアの方々による周囲のサポートに深く感銘を受けると同時に、汗は一杯かきましたけど、とても楽しい有意義な時間を過ごすことができました。

また参加させていただければと思います。ありがとうございました。

(砂川 英城)

久しぶりの開催となり、アスリートのワクワクした気持ちがたくさん伝わりました。楽しみながら、たくさんの元気をもらいました！

来年は参加者がさらに増えて、もっと盛り上がる大会になることを願っています。ぜひ、またお手伝いさせてください！（西尾 健）

2023年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック ボウリング競技会

ボウリング競技会 アスリート 川端 克幸

近畿ブロック ボウリング競技会に参加しました。
僕のレーンは兵庫と大阪のアスリートでした。
スペアやストライクをだした時はハイタッチをして喜びあいました。とても楽しかったです。
僕は銀メダルがもらえてうれしかったです。

ボウリング競技会 ボランティア マルホ株式会社 山 智子

今年はコロナも収束に近づき、参加数も昨年の1.2倍以上と、アスリートの皆さんのが活動再開を待ちわびておられたのだと実感しました。
皆さんの楽しそうな表情に疲れも吹き飛ぶ思いです。

ボウリング競技会 ファミリー 倉見 享子

航太郎「楽しかった。」
母「久しぶりの大会でたくさんのアスリートやファミリーが集まれて、とても良い時間でした。運営の皆さんやボランティアの皆さんのおかげです。ありがとうございました。」

ボウリング競技会 ファミリー 藤川 久美

久しぶりに、大きな大会に参加でき、緊張の中、良く頑張ったと思います。ボランティアコーチの皆様、有り難うございました。

ボウリング競技会 ボランティア 大阪西ライオンズクラブ みらいへ支部 大久保 彰

昨日のボウリング競技会、お手伝いをほんの少しですが、させていただき、非常に大きな学びを得ることができました。ありがとうございました。
レーンサポーターとして観戦させていただきましたが、非常に熱く、レベルの高い大会で、感動ひとしきりでした。
また、次回も参加したいと考えております。
大会運営に関しては、特に意見はございません。観戦者も含め、皆が協力的で、競技会はスムーズに運営されたのではないかと思っております。
ありがとうございました。



競泳競技会 ボランティア 関電パワーテック 三原 寧音

大きな大会のボランティアには初の参加だったので、選手の方が真剣に取り組まれている姿や、笑ったり涙する姿を見てコロナ禍で大会に参加できない気持ちを考えると対面での活動はやはりいいなあという気持ちになりました。

至らない点もあるかと思いますがまた何かお役に立てることがありましたら、ボランティアとして参加させていただければ嬉しいです。

競泳競技会 ボランティア 谷澤 祥行

競技会お世話になり、ありがとうございました。
久しぶりの活動で足手まといにならないか不安でしたが朝から1日楽しく過ごすことができました。
アスリートの練習の積み重ねが感じられてとても元気をもらいました。また、発表できる機会の大切さやその場に関わる人の思いなど、競技会の必要性を感じる時間でした。

シャワー室の係でしたが競技を終わってのアスリートの個性が現れる楽しい場所でした。大きな混乱も怪我もなく、みなさんがよく動く気持ちの良い競技会でした。ありがとうございました。

競泳競技会 ボランティア 中井 のどか

はじめてスペシャルオリンピックスの競泳競技会にボランティアとして参加させて頂きました。まさに生涯スポーツの醍醐味！生涯スポーツのあり方をみせられました。

競技レベルが違う中で、アスリート1人1人が楽しみ成長できる競技会は、なかなかありません。私自身は、障がいの有無に関係なく生涯スポーツは健康増進だけでなく人生を豊かにする事に最大の意味があると感じています。

スペシャルオリンピックスは、まさにアスリートやファミリー、関係者の方の人生を豊かにするものだと感じます。スペシャルオリンピックスをもっとたくさんの人々に知ってもらえるように、自社でも取り組ませて頂きます。今後ともよろしくお願いします。



2023年スペシャルオリンピックス日本・大阪 卓球競技会

SON・大阪 地区卓球競技会について

運営部会長 浦本 朋視

5月28日、枚方市立渚市民体育館で大阪地区卓球競技会を開催しました。

昨年に引き続き、今回は2回目の実施で、兵庫と京都を招待し、大阪地区を含めて26名のアスリートが参加しました。

種目は、個人技能競技、シングルス、ダブルス、団体戦とレクリエーションとして、障がいのない人とペアを組むユニファイドダブルス競技を実施しました。

ゲーム進行においては、スペシャオリンピックスの特有のルールも、ご理解いただき、シングルスの予選等、大きな混乱もなく、実施する事ができました。ユニファイドダブルスは、審判として参加いただいた枚方卓球連盟の方に、アスリートとペアになって参加していただきました。

今回、個人技能競技にエントリーするアスリートがいました。試合形式ではない競技で、枚方卓球連盟の皆さん、ボランティア、参加しているアスリートやファミリー、スタッフ全員が、注目して応援できるような場面を設定しました。実際、多くの方の応援を受けることでさまざまな障がいのあるアスリートを知ってもらう機会になったと思っています。

今後も継続、かつ多くの地区的アスリートが参加して、楽しめる大会を目指していきたいと思います。

最後に、参加された兵庫、京都のアスリート、ファミリーの皆様をはじめ、後援の枚方市、枚方市教育委員会、枚方市社会福祉協議会、協力の枚方市卓球連盟の皆様、そしてその他、大会開催に向けて、多大なるご支援をいただいた皆様にお礼を申し上げます。



2023年 SON・大阪 卓球競技会 審判の皆さまより

- ◎素晴らしい体験をさせて頂き感謝です。ありがとうございます。
- ◎アスリートの皆様の笑顔に癒された一日に感謝です。
- ◎皆上手です。
- ◎逆にこちらが勇気をもらいました。また来年も出来ればいいですね。
- ◎昨年に引き続き、ご協力させて頂けて、こちらこそ有難うございました。
- 二回目になると、顔も何となく覚えていて、今年も元気に参加されているのだな～と… "happy"
- 又、上手になっておられる方も見られて、嬉しかつたです。

卓球競技会 アスリート 小川 友輔

卓球のプログラムのメンバーで司会進行をしたのは、初めてだったのですが、みんな頑張ってくれたのでいいかたちの競技会ができたと思います。枚方卓球協会の人達もユニファイドダブルスが楽しかったと言うのを聞いています。僕もみんなに司会をたのんでうまくいかず、初めてだったので、開会式がうまくいかず不安だったけど、みんな頑張ってくれたのでうまくいったのがよかったです。

卓球競技会 ボランティア 大阪西ライオンズクラブ みらいへ支部 田中 陽補

貴重な経験をさせていただきましてありがとうございました。
純粋にスポーツを楽しめている。そんな感じがひしひしと伝わり、有意義な時間を過ごすことができました。

卓球競技会 ファミリー 小川 直子

大阪競技会では 開会式、閉会式の司会を卓球のアスリートが行って みんな立派にやりきったことが嬉しかったです。友輔自身いろんなアスリートにチャンスを考え アスリート本人に気持ちを聞いて みんなやってみると返事をしてくれ 自分たちで時間も待ち合わせし 練習しました。

その姿に感動しました。大会も枚方卓球協会の方たち 企業ボランティアさんの方々の力もお借りして アスリートの笑顔を見ることができたことに感謝します

スペシャルオリンピックスを通して 他地区的アスリートとの交流もできて嬉しかったです。アスリートの笑顔の為にこれからも頑張っていきたいと思います。

卓球競技会 ファミリー 松浦 慶依

卓球プログラムに参加して、約20年になります。対外的な競技会に初めて参加しました。とはいって、個人技能という形での参加でした。

ピンポンキャッチをしたり、ラケットを使ってピンポンをついたり等とても苦手で、ほとんど経験のない項目もあって、コーチ付きでの実施でしたが、本人は楽しそうで笑顔も垣間見たような気がして、見守っていたファミリーとしても、ホッとしました。

そして、何より表彰式でメダルを首にかけて頂いて、満面の笑みでのバンザイは最高でした。

ファミリーの感想です。お世話になりました。

